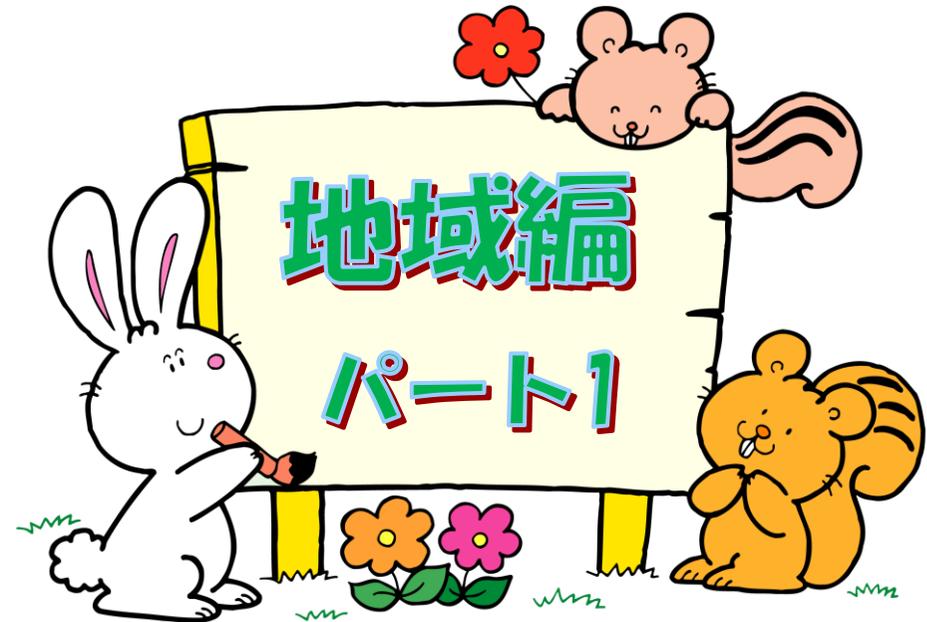
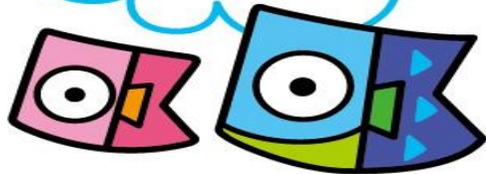


# 子育てのヒント



地域の皆様  
御協力ありがとうございました。



地域の方々から実例がよせられました。

加須市立加須幼稚園

## 朝幼稚園・昼幼稚園

加須幼稚園は昔、朝と昼の2部制だったことをご存知ですか。加須地区に住んでいる子供はみんな4歳になったら幼稚園にあがれることを楽しみにしていました。「幼稚園は楽しかった…」という記憶があります。加須市は、昔から教育に力を入れていたのですね。私は加須市を出てみて、初めて良さがわかりました。市内にこれだけ公立の幼稚園があるなんてありがたいことですね。

### メッセージ

加須幼稚園は今から約90年前に、埼玉県で初めて認可を受けた公立の幼稚園です。幼稚園に通うことは、子供たちのあこがれだったのですね。親子3代、4代に渡って加須幼稚園に通園した家庭もあります。



## 思いきい自然に触れて

ザリガニが大好きな子供がいました。ザリガニつりをすることはもちろんのこと、寝ても覚めても頭の中はザリガニのことばかり…。気の済むまでザリガニにかかわったその子は、大人になって科学の道に進みました。子供の成長はすぐに結果が出るというものではありません。長い年月をかけて成長の姿となって返ってくると本当に嬉しいものですね。

### メッセージ

自分の目で見て、触れて、確かめながら、思いを巡らせる中で子供の興味・関心は最大限に引き出されます。見る、聞く、味わう、触る、匂いを確かめるなど、5感を働かせることが脳を活性化させるのです。



## 地域で子育て

昔は、自分の子供も近所の子供もいけないことをすれば同じように叱り、良いことをすれば褒めるという風潮がありました。だから、子供たちも近所の大人の言うことをよく聞きました。地域のみんなで地域の子供たちを育てるという意識が強かったのでしょうね。

### メッセージ

子供たちは、地域の多くの大人たちに見守られながら成長することができたのですね。地域の方から「子供たちのために貢献できることがあればぜひ協力させてください。」との、ありがたいお言葉をいただきました。



## 子供は慈しんで育てよう!

時代は変わっても、変わらないものがあります。それは、子を思う親の気持ちです。子供は慈しんで育てるのだという根底は変わらないのです。しかし、核家族化が進み、子育てについて気軽に相談できる人が近くにいないことで、不安を抱えるお母さん方が増えているように思います。そんな中で、「子育てママの語ろう会」は、とても良い取り組みですね。この回をきっかけに顔見知りになったお母さん方と街で出会うと、あいさつをしてくれて、とっても嬉しい気持ちになりました。

### メッセージ

地域の子育て応援隊からのアドバイスは子育ての不安を解消してくれますね。不安をまるごと受け止めてくれる安心感がありますね。「子育てママの語ろう会」には、どうぞ気軽な気持ちでご参加ください。



## 歩いて通った幼稚園

今は、車で幼稚園に通う家庭が増えているようです。昔は、近所に住む親子と一緒に連れ立って、歩いて幼稚園に通うことが一般的でした。途中、行き会う人にも親があいさつするのを見て「おばちゃん、おはよう!」と、親のあとに続いて言っていましたね。親の姿を見て自然に覚えていったのでしょう。車ではあっという間に幼稚園についてしまうでしょうが、時間をかけて歩くことでたくさんの人に出会いあいさつを交わしたり、自然の変化を身近に感じたりすることができました。

### メッセージ

あいさつは、人と人を結ぶ架け橋です。すすんであいさつができる子に育ててほしいですね。保護者の方が良きモデルとなって子供たちに示していきましょう。気候の良い季節には、お子さんと一緒に幼稚園まで歩いてみてはいかがでしょうか…



## 子供を通して社会参加

お母さん同士がとても仲が良いですね。幼稚園の送り迎えをしながらお母さん同士が仲良く話している姿を見かけると、とても嬉しくなります。自分の子供が小さかった頃のことを思い出しても、幼稚園に通っていた頃が、後にも先にも一番楽しかったです。子供を通して、社会に参加することができたからだと思います。役員も経験しましたが、子供たちのために自分が役に立っていることが嬉しかったのを覚えています。

### メッセージ

保護者同士の仲の良さは、子供達にも反映されていますね。幼稚園は、子育てについて気軽に話し合える人に出会うことのできる貴重な場となっています。



## 子供は汗を流して遊ぶもの

最近の子供たちは、ゲームにばかり夢中になり、戸外に出て遊ぶことが少なくなりましたね。実体験不足のまま大きくなってしまって大丈夫なのでしょうか。友達と遊ぶといっても、持参したゲームを使って会話もないまま個々のゲームに夢中になっているという話を耳にし、悲しくなりました。子供は、友達と一緒に汗を流しながら夢中になって遊ぶものです。

### メッセージ

あまりにもゲームに夢中になりすぎて、現実との区別がつかなくなってしまうことが危惧されていますね。幼児期は特に感化されやすいようです。この大切な時期に、体を十分に動かして遊び、実体験を積みながら健康な心と体を手に入れていきましょう。



## 自分の荷物は自分で持つ

子供の荷物を持ってしまうお母さんを見かけます。これでは、子供が「自分のことは自分でする」機会を奪ってしまいます。いつも誰かに荷物を持ってもらっていると、大切に扱わなくなったり、どこかに置き忘れてしまったりすることがあります。自分の持ち物だという意識がもてなくなってしまうのかもしれませんが。自分の物は自分で持つ習慣を身につけさせたいですね。

### メッセージ

荷物が持ちにくいならば持ちやすく、重たいならば少し軽くして、子供が自分で持てるように工夫をしてみましょう。

幼稚園の持ち物から始めてみませんか。車や自転車でおいでの方は、車や自転車から(まで)自分で持っていけるようにしましょう。

